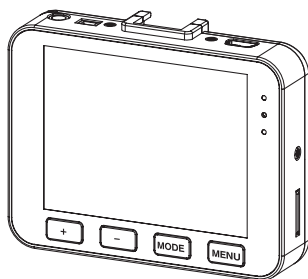
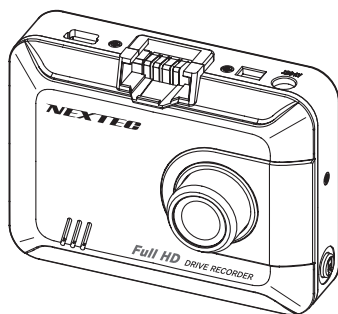


ドライブレコーダー
NX-DR203S

取扱説明書



このたびは NX-DR203S をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ正しくご使用ください。
お読みになった後は、大切に保管していただき、その都度で参照ください。

本体の電源は DC5V です。
必ず、付属のカー電源コードを使用してください。

目次

必ずお読みください

安全についてのお読み・ご注意	3
免責について	4
個人情報の保護について	4
バックアップ電源について	5
microSD/SDHC カードに関するご注意	5
LED 式信号機について	6
パソコンで映像の再生をする場合の動作環境	6
もしも事故が起きてしまったら	6

準備する

同梱品を確かめる	7
各部の名称	8
はじめにすること	9
1. SD カードを挿入する	9
2. 本体の電源を入れて内蔵電池を充電する	10
3. SD カードをフォーマットする	11
4. 日時を合わせる	12
車へ取り付ける	13

撮る

録画を開始する	16
1. 常時録画	17
2. イベント録画 (G センサー / 手動)	18
録画を停止する	19

見る

本体で見る	20
再生モードでの各ボタンの機能	21
再び録画を開始するには	22
パソコンで見る (SD カード)	23
パソコンで見る (USB ケーブル)	25
外部モニターで見る	26

各種設定

1. ビデオメニュー	27
2. 再生モードメニュー	30
3. 設定メニュー	32

上手な使い方

オプションの GPS ユニットを使う	35
1. 速度超過警報	35
2. 専用ビューアー画面で詳細な情報を見る	36
初期化 (リセット) について	37
本体ソフトウェアのアップデート	37

記録時間の目安

故障かな?と思ったら

主な仕様

保証規定 / 保証書

裏表紙

必ずお読みください

安全についてのお願い・ご注意

本機を安全にご使用いただくには、正しい使い方と安全に関する注意事項をお守りいただくことが必要です。本書では、誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して説明しています。



警告

この表示の欄を守らないと火災・感電及びその他の危険により死亡や大けがの原因となります。



注意

注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。



警告



■運転の妨げにならない場所に取り付ける

本機は、運転の妨げにならないように、取り付けてください。また、取り付ける際に、本機が落下しないように十分ご注意ください。万が一落下した場合でも、運転の支障にならない場所をお選びください。



■ケースは絶対にあけないでください

本機は精密部品を多数搭載しています。分解や改造を加えますと故障や感電の原因となります。



■内部に異物を入れない

内部に異物が入ると火災や感電の原因となります。



■電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。



■異常があるときはすぐ使用をやめる

発熱、発煙、異臭を感じた時は、直ちに使用を中止して、カー電源コードを車のシガーライターソケットから抜いてください。そのまま使用されますと火災や感電の原因になります。お客様ご自身での修理は絶対に避けてください。



■本機を濡らさない

水につけたり、水をかけたりしないでください。また、濡れた手で操作しないでください。感電、故障の原因になります。



■車を運転中に本機を操作しない

車を運転中に本機を操作することは交通事故の原因になります。運転中の操作は絶対に避け、安全運転を心がけてください。

⚠ 注意



■衝撃や強い振動を加えない

使用している部品が壊れ故障の原因になります。



■使用温度範囲内で使用する

本機の温度保証範囲 (P.41) 以外で使用するると内部の部品に悪影響を与えたり、誤作動の原因となります。特に夏期や直射日光に当たると予想以上に高温になりますので十分ご注意ください。



■高温時の取り扱いに注意する

本機に直射日光が当たっている状態など本機がかなり高温になっているときがありますので触れる際には、十分にご注意ください。



■お手入れの際、電源プラグを抜く



お手入れの際は必ず、カー電源コードを車のシガーライターソケットから抜いてください。また、お手入れには柔らかい布またはティッシュペーパーを使用し、シンナー、ベンジン、アルコール類を使用しないでください。使用するとケースが変形するおそれがあります。



■日本国内で使用する

本機の仕様は日本国内向けとなっています。



■取り付け場所を十分に考慮する (P.13)

免責について

■免責について

弊社はいかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。

1. 本商品に関連して直接または間接に発生した損害・被害、または結果的損害・被害
2. お客様の誤使用や不注意による本製品の障害または破損など
3. お客様による本商品の分解、修理または改造が行われた場合、それに起因するかどうかにかかわらず、発生した一切の故障または不具合
4. お客様による映像（記録を含む）が何らかの理由により公となりまたは目的外に使用され、その結果、被写体となった個人または団体などによるプライバシー侵害などを理由とするいかなる賠償請求、クレームなど
5. 記録した情報内容が何らかの原因により、消失してしまうこと

個人情報保護について

■個人情報の保護について

本機を使用したシステムで撮影された映像で個人が特定できる情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた「個人情報」に該当します。法律に従って、映像情報を適正にお取り扱いください。

バックアップ電源について

●スーパーキャパシタ

衝撃によってシガー電源が切れた時でも、内蔵のバックアップ電源で録画中のファイルを正常に保存します。バックアップ電源は耐久性に優れたスーパーキャパシタを採用。

●時計用バックアップ充電電池

初めて使用する場合や長期間にわたり使用されなかった場合、本体内蔵の充電電池を充電してください。(20 分程度) 充電しても日時が初期値に戻ってしまう場合は内蔵充電電池の寿命です。

※保証期間終了後の内蔵充電電池の交換は有料です。

※内蔵充電電池の寿命は使用環境によって変化します。

microSD/SDHC カードに関するご注意

本説明書では、特にことわりがない場合、「microSD/SDHC カード」を「SD カード」と表記させていただきます。

※ SD カードは消耗品です。

SD カードは書き換え回数に上限があり、書き替えるを繰り返すことで正常に保存ができなくなり、データを破損して読み込みもできなくなります。

※ SD カードは消耗品につき初期故障（使用開始後 10 日間）のみ保証します。

※本機以外で使用した SD カードを初めて使用する場合は、必ず SD アンシエーションの SD フォーマッターでフォーマットを行ってください。(P.6 参照)

但し、SD カードによってはフォーマットを行ってもエラーが出る場合がありますが、弊社では一切の責任を負いません。

重要！

SD カードは 1～2 週間を目安に定期的なフォーマットを実施してください。フォーマットを全くしないでご使用し、事故映像等が記録されない場合、弊社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

※ SD カードが寿命を迎えている場合、または正常に記録されない場合の動作例

- ・記録が開始されない
- ・“しばらくお待ちください” から切り替わらない
- ・“SD カードをフォーマットしてください” が出る
- ・SD カードが挿入されていても“SD カードを挿入してください” と表示される

フォーマットをしても異常が起こる・フォーマットできないなどの症状が出た場合は、SD カードを交換してください。

SD カードの寿命は概ね 3 ヶ月から 1 年程度です。(ドライブレコーダーのご使用状況(ご使用時間)により SD カードの寿命は変動します。この期間、また本製品の保証期間でカードの寿命を保証するものではありません)

また 1 年を経過したものはたとえ問題が無くても交換されることをお勧めします。

フォーマットの方法

●パソコンをお持ちの方

SD カードをパソコンで読み取れるかどうか・動画の再生ができるかどうかを確認しフォーマットを行ってください。SD カードのフォーマットは、SD アソシエーションのウェブサイトから SD フォーマッターをダウンロード・インストールして行ってください。

●パソコンをお持ちでない方

ドライブレコーダーの再生モードで記録した映像を再生して問題が無いことを確認してください。その後、本体のメニューにフォーマットの項目がありますので、フォーマットを行ってください。(P.11 参照)

LED 式信号機について

ドライブレコーダーの録画映像で LED 式信号機が点滅したり、消灯しているように見える場合があります。LED 式信号機は高速で点滅しているため、カメラの撮影タイミングと、LED の消灯タイミングが同調したことで起こります。

パソコンで映像の再生をする場合の動作環境

- ・ Windows Vista/7/8/10 (32/64bit) がインストールされたパソコン。
- ・ Windows Media Player 等の H.264 再生ソフトがインストールされていること。(再生ソフトに関するお問い合わせはお受けできません) (音声のみ再生される場合、H.264 対応のコーデックが必要です)
- ・ USB2.0 インターフェースもしくは microSD/SDHC カードリーダーを備えていること。
- ・ それぞれの OS の推奨環境以上で動画再生でも十分な能力を持っていること。

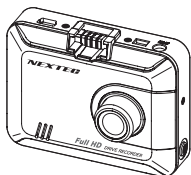
もしも事故が起きてしまったら・・・

記録を停止しない限り、撮影を続けるため事故時の映像が上書きされてしまう場合があります。必ず撮影を停止し、本機から SD カードを取り出してケースなどで保護して保管してください。

準備する

同梱品を確認める

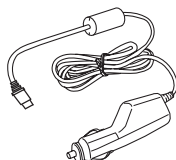
お買い上げいただいた製品は次の品目から構成されています。
内容をご確認ください。



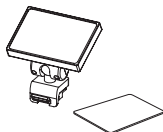
本体 (1 台)

ご注意

本体のレンズ部と液晶パネルには保護フィルムを貼ってあります。



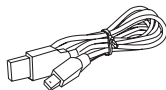
カー電源コード (約 3m)
(1 本)



取付ステー (1 個)
ステー固定用両面テープ



取扱説明書 (本冊子)
保証書付 (1 冊)



USB 接続ケーブル (1 本)



8GB microSDHC カード (1 枚)

別売品

GPS ユニット : HX-GP200

日時合わせを自動的に行うことができます。

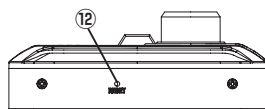
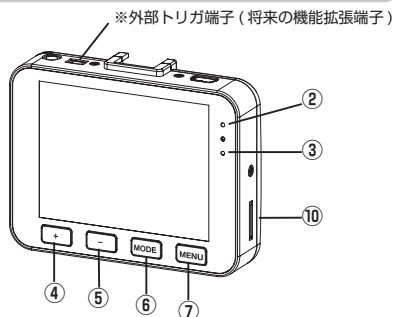
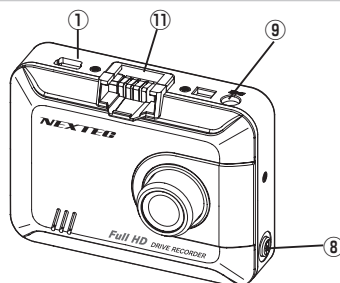
直結配線ケーブル : DC-4B5VS

車両のシガーソケットから電源を供給できない場合に、直接車両の配線から電源を供給できます。

※本文のイラストはイメージです。実際と異なる場合があります。

準備する

各部の名称



① 電源 (miniUSB) 端子

電源入力には DC5V です。

必ず付属のカー電源コードを接続してください。USB ケーブルにてパソコンと接続することで、SD カードリーダーとして動作します。

② 電源 LED (青)

通電中点灯

③ 録画 LED (橙)

録画中：ゆっくりと点滅

録画停止中：点灯

④ UP + ボタン

設定内容の選択をします。画像のズームイン。再生中の順方向倍速設定。

⑤ DOWN - ボタン

設定内容の選択をします。画像のズームアウト。再生中の逆方向倍速設定。

⑥ MODE ボタン

録画停止中：動画 / 再生モードの切替。

録画中：音声録音の ON/OFF 切替。

⑦ MENU ボタン

設定画面の表示 / 手動ロックファイル

⑧ 記録 / 確定ボタン

録画の停止 / 開始及び再生開始します。

設定時の決定をします。

⑨ AV 出力端子

⑩ microSD/SDHC カード挿入部

microSD/SDHC カードを挿入します。

⑪ 取付けステー装着部

⑫ リセットホール

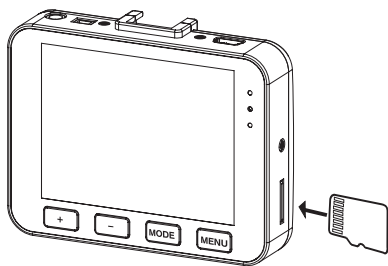
本製品が正常に動作しない場合やフリーズした場合に初期化をします。

(P.37 参照)

はじめにすること

1. SD カードを挿入する

SD カードのラベル面をレンズ側にして本体のカード装着部に“カチッ”と音がするまで挿入します。必ずカードの向きに注意し無理に入れないでください。また、カードを抜く場合にも同様に“カチッ”と音がするまで押してから引き抜いてください。



重要！

⚠ 注意

- SD カードを抜く場合は本機の電源が切れていること、または録画が停止していることを確認してから行ってください。SD カード破損の原因となることがあります。
- SD カードは消耗品です。ドライブレコードでご使用の場合耐用年数は3ヶ月から1年です。3ヶ月から1年毎に新しいmicroSDHCカードと交換することをお勧めします。
- SD カードは書き換え回数に上限があり、書き替えを繰り返すことで正常に保存ができなくなり、データを破損して読み込みもできなくなります。1～2週間を目安に本体またはパソコンでフォーマットを行ってください。
- 同梱以外のSDカードを使用する場合も必ずフォーマットをしてください。また、SDカードメーカーによっては性能を発揮できない場合がありますので、あらかじめテスト撮影を行ってください。（推奨 microSDHC カード：4～32GB の Class6 以上）
- 小さなお子様のいらっしゃるご家庭では手の届かないところで保管してください。

準備する

2. 本体の電源を入れて内蔵電池を充電する

初めて使用する場合や長期間にわたり使用されなかった場合、本体内蔵の充電電池をお車や USB ケーブルをパソコンや USB 電源に接続して 20 分程度充電してください。充電しても日時が初期値に戻ってしまう場合は内蔵充電電池の寿命です。

※保証期間終了後の内蔵充電電池の交換は有料です。

※内蔵充電電池の寿命は使用環境によって変化します。

■車で充電する

1. SD カードを挿入する

2. 付属のカー電源コードで本体と車のシガーソケットを接続する (P.15 参照)

3. 車のエンジンをかける

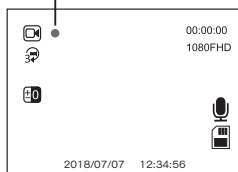
自動的に電源が入り充電が行われます。

録画が自動的に始まるので、録画の必要がない場合は、一度、電源を切り SD カードを抜いて、再度電源を入れてください。(下記のご注意参照)

※内蔵電池の容量が全く無い場合はアラーム音が鳴り、エラーメッセージ“日時を合わせてください”が表示されますが、しばらくすると録画は開始されます。

※録画中は録画マークが赤で点滅します。“記録 / 確定” ボタンを押すと録画が停止します。但し、オートレジュームが ON の場合は、しばらくすると録画を開始します。(初期設定は ON P.29 参照)

録画マーク
赤で点滅中は録画中

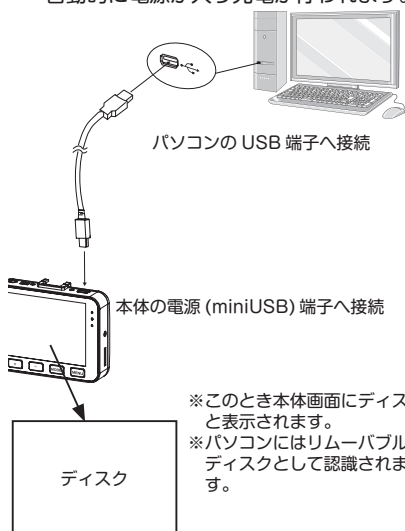


■パソコン等の USB で充電する

1. SD カードを挿入する

2. 付属の USB 接続ケーブルで本体とパソコンを接続する

自動的に電源が入り充電が行われます。



※このとき本体画面にディスクと表示されます。
※パソコンにはリムーバブルディスクとして認識されず。

●充電後のフォーマット等の設定は、パソコンではできません。必ずお車で行ってください。

ご注意！

- ※ SD カードを挿入しないで電源を入れたと約 1 分で電源が OFF しますが充電は行われています。
- ※ 運転する機会が少ない場合は、充電不足になります。定期的に充電を行ってください。

3. SD カードをフォーマットする

充電が完了したら、SD カードのフォーマットを行います。

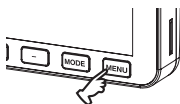
※ SD カードを挿入しないで電源を入れると約 1 分で電源が OFF しますのでご注意ください。

※ パソコンと接続した状態ではフォーマットできません。必ずお車で行ってください。

1. 録画が停止していることを確認する

録画中の場合は、**記録 / 確定** ボタンを押して停止してください。

2. MENU ボタンを 2 回押して設定メニューを表示させる



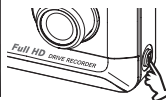
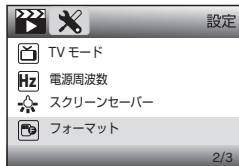
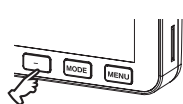
設定メニュー



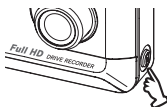
3. — ボタンで“フォーマット”を選択

し、**記録 / 確定** ボタンを押す

SD カードと表示されます。

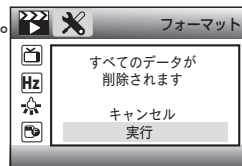
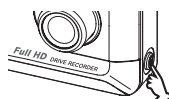
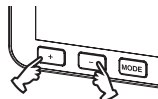


4. **記録 / 確定** ボタンを押す



5. + — ボタンで“実行”を選択し **記録 / 確定** ボタンを押す

“お待ちください”が表示され、消えればフォーマット完了です。



6. MENU ボタンを押して、終了する

※ SD カードは定期的にフォーマットを行ってください。フォーマットをしませんと、“SD カードをフォーマットしてください”の警告が出たり、正常に記録ができなくなります。(P.5 参照)

準備する

4. 日時を合わせる

フォーマットが完了したら、SD カードは挿入したまま日時を合わせます。

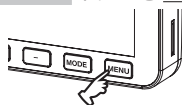
※ SD カードを挿入しないで電源を入れると約 1 分で電源が OFF しますのでご注意ください。

※パソコンと接続した状態では日時合わせはできません。必ずお車で行ってください。

1. 録画が停止していることを確認する

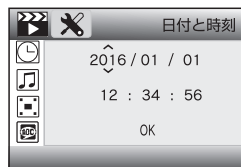
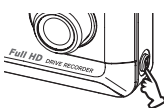
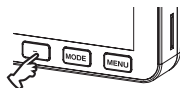
録画中の場合は、**記録 / 確定** ボタンを押して停止してください。 設定メニュー

2. MENU ボタンを 2 回押して設定メニューを表示させる

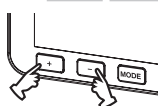


3. **—** ボタンで“日付と時刻”を選択し、**記録 / 確定** ボタンを押す

日付と時刻の設定画面になります。



4. 年を **+** **—** ボタンで合わせたら、**記録 / 確定** ボタンで項目を移動させる



5. 同様に月、日、時刻を設定し、最後に項目 OK で表示形式を設定して **記録 / 確定**

ボタンを押して設定を確定させる

※表示形式は“年/月/日” “月/日/年” “日/月/年” を選択できます。

※表示形式を選択後、記録/確定ボタンで日時が確定され、設定メニューに戻ります。

6. MENU ボタンを押して、終了する

※正しく設定されているか日時表示を確認してください。

※長時間使用しないと内蔵電池の容量がなくなり、日時が初期値に戻ります。電源を入れた時に、アラーム音が鳴り、エラーメッセージ“日時を合わせてください”が表示されます。その場合は、充電を行い日時を再設定してください。設定をしなくても録画はできますが、録画ファイルに日時が表示されません。

※別売の GPS ユニットを接続すれば、日時合わせは自動的に行うことができます。

車へ取り付ける

取り付け上のご注意

本製品は道路運送車両法・保安基準第 29 条の前面ガラス装着規制対象外です。

但し、設置場所はフロントウィンドウの開口部上端から下方に 1/5 以内の場所に限ります。装着後運転の邪魔にならないか、ルームミラーの操作の妨げにならないか等十分に確認してから使用してください。

■車を平らで安全な場所に駐車して作業をしてください。

■配線後のコードが運転の支障にならないように固定してください。

■道路運送車両法・保安基準に適合するように、フロントガラスに取り付けてください。

■取り付け位置はフロントウィンドウの開口部上端から上下方向に 1/5 以内の場所、もしくは運転席側から見てルームミラーに隠れる場所に取り付けてください。

■レンズ部分がワイパーでふき取れる部分になる位置にくるよう取り付けください。

■点検シールや車検標章などと重ならないようにしてください。

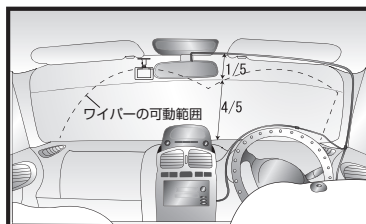
■両面テープを貼り付ける際、接着面の汚れや湿気をよく取り除いてから行ってください。特に湿度の高い日はデフロスター（曇り止め）等で湿度を下げてから行ってください。また最初にセロテープ等で仮止めをしてから貼ることをおすすめします。

■貼り付け直後は十分な接着力が得られません。テープ本来の接着力を得るには 24 時間程度必要です。

■接着力が高いため、はがす場合には接着面を傷める可能性があります。

■あらかじめモニターで撮影範囲を確認の上、取り付けしてください。

■ルームミラーの操作の妨げにならない位置に取り付けてください。



<トラックの場合の取り付け参考例>

■前方がしっかりと見える場所に取り付けてください。

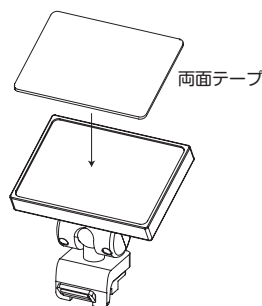
△注意

カーナビゲーション、ETC、地デジチューナーやそれらのアンテナなど電波を受信する機器から離して取り付けてください。

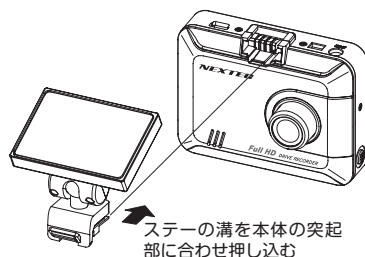
準備する

■正式に取り付ける前に仮止め、仮設置をし基本動作や配線が正常にできることを確認してください。また、車の電装品が正常に動作することも確認してください。

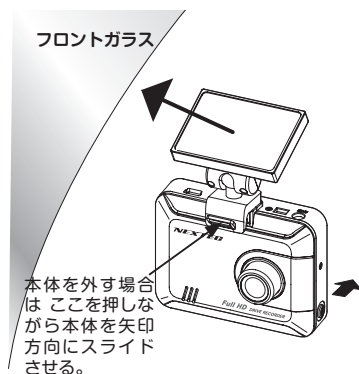
1. 取り付けステーに付属の両面テープを貼り付ける（取り付けステーのくぼみに合わせて貼ってください）



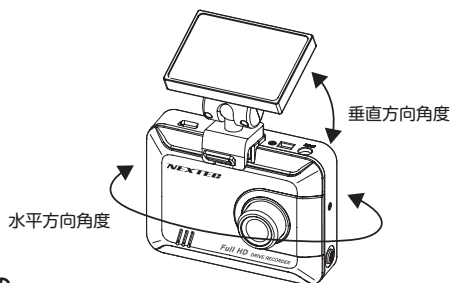
2. 本体の取り付けステー装着部の突起部にステーの溝を合わせ“カチッ”と音がするまで押し込む



3. 車両の中央部から助手席側の運転の邪魔にならない場所をあらかじめ確認して、レンズを進行方向に向けてフロントガラスに貼り付ける



4. 水平方向、垂直方向の角度を合わせる



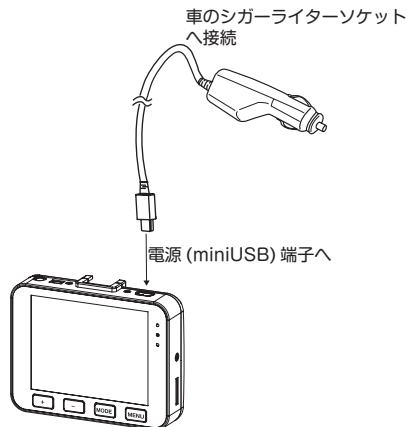
5. 付属のカー電源コードのプラグを本体の電源 (miniUSB) 端子に差し込みます。

6. カー電源コードの電源プラグを車のシガーライターソケットに差し込みます。

※電源コードは、運転の支障にならないように配線処理をしてください。

⚠注意

- シガーライターソケットが汚れていると接触不良の原因になりますので、よく掃除をしてから取り付けてください。
- カー電源コードは必ず付属のものをご使用ください。また、付属のカー電源コードを切断して車両配線と直結しないでください。車両配線と直結する場合は、別売の直結配線ケーブル DC-4B5VS をお買い求めください。



撮る

録画を開始する

1. SD カードを挿入し、車のエンジンをかける

外部からの電源が供給されると、自動的に電源が入り記録が開始されます。

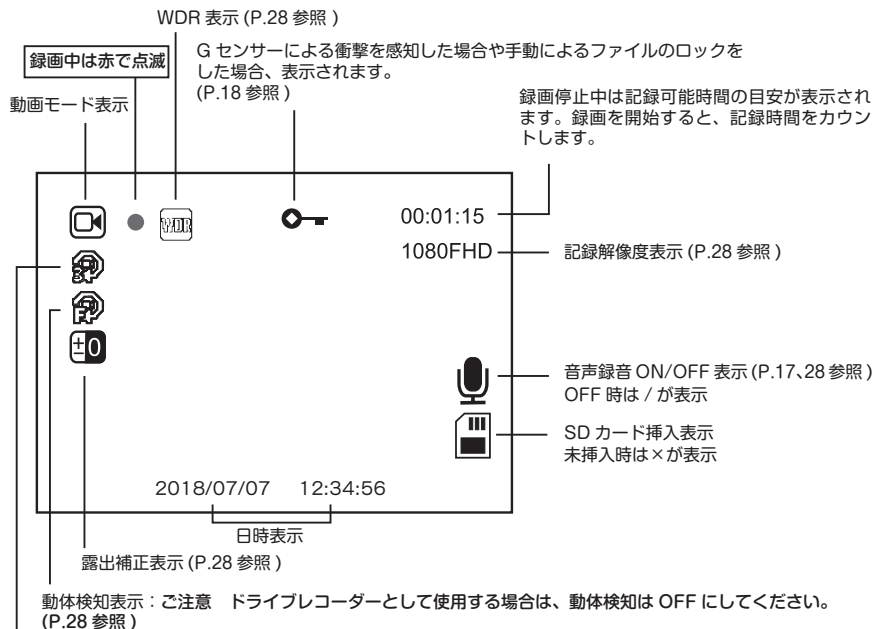
※録画オートレジュームの設定が OFF の場合は“記録 / 確定”ボタンを押してください。

※記録が開始されるまでに少し時間がかかります。(約 10 秒) この間に SD カードを抜いたり、電源を切ると記録は保存されません。

録画が開始されると、画面右上の時計カウンターが進み録画を開始します。また、本体の橙 LED がゆっくりと点滅を開始します。

※ SD カードを挿入しないで電源を入れると録画は開始しません。また、約 1 分で電源が OFF されますので、ご注意ください。その場合は、“SD カードを挿入してください”のメッセージが表示されている間に SD カードを挿入して“記録 / 確定”ボタンを押すと、録画を開始します。(録画オートレジュームの設定が ON のときは自動的に開始します。P.29 参照)

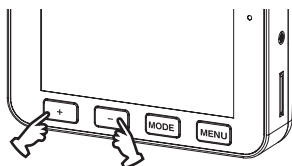
録画面面



録画繰り返し時間表示 (P.28 参照)

■デジタルズームを使う

録画中に **+** **-** ボタンを押すとデジタルズーム機能 (1 ～ 4 倍) が使えます。電源を切ると元の倍率に戻ります。

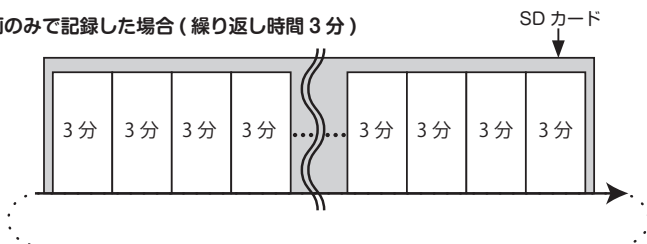


※ドライブレコーダーで使用する場合は、撮影範囲が狭くなりますので、ご注意ください。

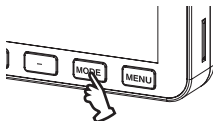
1. 常時録画

常時録画は録画繰り返し時間ごとにファイルを作成し、連続撮影をします。ファイルがいっぱいになると、古いファイルを削除して録画を繰り返していきます。

常時録画のみで記録した場合 (繰り返し時間 3 分)



※録画中、“MODE” ボタンを押すと、音声録音の ON/OFF ができます。各種設定「サウンドレコーディング」でも設定できます。P.28

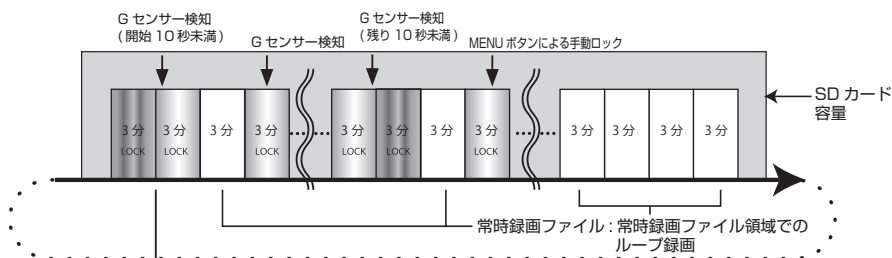


撮る

2. イベント録画 (G センサー / 手動)

本機は、衝撃センサーが設定値以上の衝撃を検知すると現在録画中のファイルをロックし、ロックファイルとして保護します。衝撃検知が、現在録画中ファイルの残り時間 10 秒未満だった場合、次のファイルもロックします。また、衝撃検知が、現在録画中ファイルの開始 10 秒未満だった場合、前のファイルもロックします。G センサーの感度調整は“各種設定”の G センサー感度 (P.29 参照) で設定できます。G センサーによる自動ロックファイル以外に録画中に“MENU” ボタンを押すことでファイルをロックすることもできます。常時録画ファイルとロックファイルが混在して生成されると、最終的に SD カード容量の約 30 %が上書きされないロックファイルとして保存されます。ロックファイル領域を超えるとロックファイル領域内で上書き保存されます。

常時録画ファイルとロックファイルの混在で録画した場合 (繰り返し時間 3 分)



※保護できるロックファイルの最大は SD カード容量の約 30%までです。(ロックファイル領域)
30%を超えた場合は領域の古いファイルから上書き保存されます。(ロックファイル領域でのループ録画)

重要!

ロックファイルの領域 (約 30%) を超えた場合は、古いロックファイルから上書き保存されます。上書きされないようにするには、定期的に不要なロックファイルの保護を解除して削除するか、必要なロックファイルはパソコン等に保存しておくことをおすすめします。

△注意

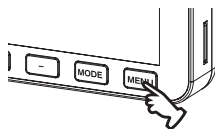
■大切なデータがある場合はパソコンなどにあらかじめ保存してください。

■ G センサーによる衝撃を検知した場合

※衝撃を検知すると、画面上部に鍵マーク (🔒) が表示されます。

■ 手動によるファイルのロック

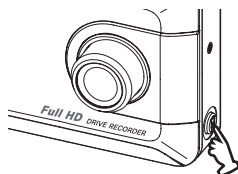
※常時録画中に **MENU** ボタンを押すと、画面上部に鍵マーク (🔒) が表示されます。



録画を停止する

1. 記録 / 確定 ボタンを押す

エンジンを切るか記録 / 確定ボタンを押すと録画が停止します。

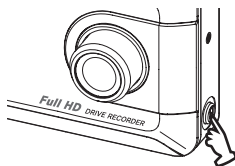


“記録 / 確定” ボタンで録画を停止した場合は、再度、“記録 / 確定” ボタンを押すと録画を開始します。(録画オートレジューム機能により無操作が約 30 秒間続いても自動的に録画を開始します。)

見る

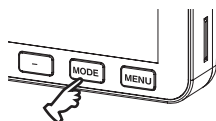
本体で見る

1. 録画中は、**記録 / 確定** ボタンを押して録画を停止する



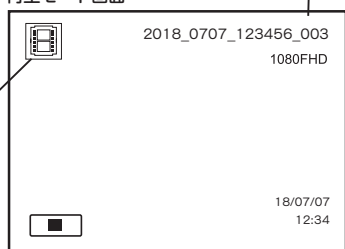
2. **MODE** ボタンを押して再生モードにする

モードボタンを押す度に動画モード / 再生モードと切り替わります。



再生モード画面

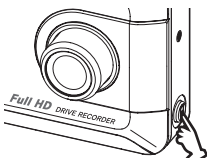
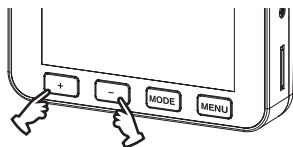
再生モード表示



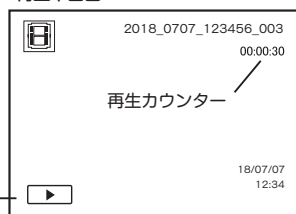
選択されている映像
ファイル番号

3. 再生したい映像ファイルを **+** **-** ボタンで選択し、**記録 / 確定** ボタン

を押す



再生中画面



再生カウンター

ロックされたファイルは
ファイル名に鍵マークが
表示されます

記録 / 確定 ボタンを押すと再生を開始します。再生を一時停止するときは、**記録 / 確定** ボタンを押してください。(▶マークが||マークに変わります)

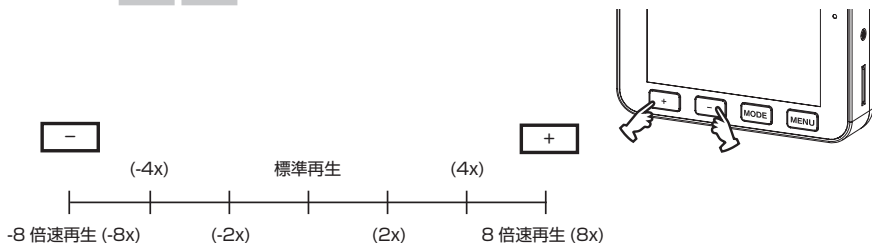
(再生一時停止状態でもう一度、**記録 / 確定** ボタンを押すと再び再生を始めます。)

ご注意：一時停止状態では録画オートレジュームは機能しません。(自動録画を開始しません)

再生モードでの各ボタンの機能

■倍速再生で見る

再生中に **+** **-** ボタンを押すことで順・逆方向倍速再生ができます。



■再生を停止する

再生中に **MODE** ボタンを押すと再生を停止し、再生モード画面に戻ります。

※再生モード画面で **MENU** ボタンを押すと再生モードメニューが表示されます。

再生モードメニューでは記録ファイルの削除や保護を設定することができます。(P.30 参照)

■再生モードのボタン機能表

再生モードでの各ボタンの機能は下表を参照してください。

ボタン	動作	機能
+	ファイル選択時	次のファイルを表示
	ファイル再生時	順方向再生倍速切り替え
-	ファイル選択時	前のファイルを表示
	ファイル再生時	逆方向再生倍速切り替え
MODE	ファイル選択時	モード変更
	ファイル再生時	再生の停止
MENU	ファイル選択時	再生モード / 設定メニュー表示
	ファイル再生時	—
記録／確定 ボタン	ファイル選択時	再生
	ファイル再生時	一時停止

見る

再び録画を開始するには

●電源を入れ直す

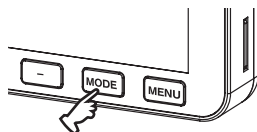
電源を入れ直すと、自動的に録画を開始します。

※録画オートレジューム設定が OFF の場合は、“記録 / 確定” ボタンを押してください。
初期設定は ON です。

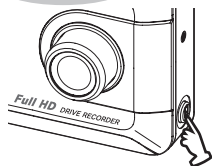
●手動で行う

1. 再生を停止し、再生モード画面にする

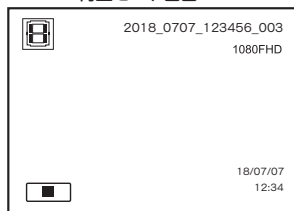
2. 再生モード画面で **MODE** ボタンを押して、動画モード画面にする



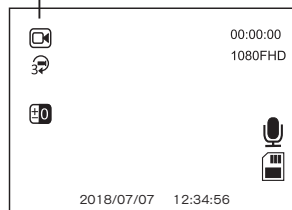
3. **記録 / 確定** を押すと録画を開始する



再生モード画面



動画モード表示



●録画オートレジュームの設定が ON 時 (初期設定)

約 30 秒間無操作が続くと自動的に録画が開始されます。(P.29)

再生一時停止状態では録画オートレジュームは機能しません。

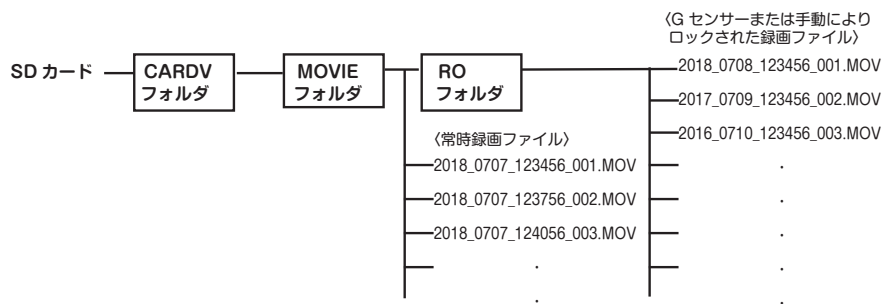
パソコンで見る (SD カード)

パソコンの動作環境

- ・ Windows Vista/7/8/10 (32/64bit) がインストールされたパソコン。
- ・ Windows Media Player 等の H.264 再生ソフトがインストールされていること。
(再生ソフトに関するお問い合わせはお受けできません) (音声のみ再生される場合、H.264 対応のコーデックが必要です)
- ・ USB2.0 インターフェースもしくは microSD/SDHC カードリーダーを備えていること。
- ・ それぞれの OS の推奨環境以上で動画再生でも十分な能力を持っていること。

フォルダ構成

映像が記録されている SD カード内のフォルダとファイルの構成は下記のとおりです。



ファイル名

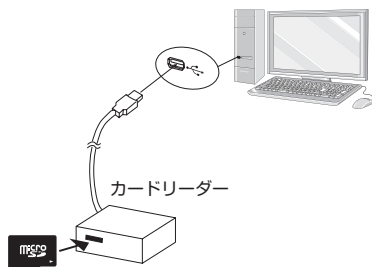
映像が記録されると下記のファイル名で保存されます。



※再生モードで保護を解除したファイルは RO フォルダ内に残ります。

見る

1. カードリーダーをパソコンに接続する



2. SD カードをカードリーダーに挿入する

※ microSD/SDHC を直接接続できるパソコンの場合は、カードリーダーは必要ありません。

3. “CARDV” フォルダがあるリムーバブルディスクを開く



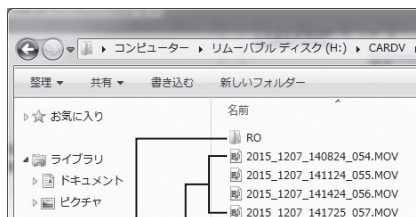
4. “CARDV” フォルダを開く “MOVIE” フォルダが表示されます。



5. “MOVIE” フォルダを開く “RO” フォルダと常時録画ファイルが表示されます。

※ 常時録画ファイルを開くと Windows Media Player 等の動画再生ソフトが立ち上がり、動画の再生が始まります。

※ “RO” フォルダを開くと G センサーまたは手動によりロックされた録画ファイルが表示されます。
(P.18、23 参照)
ファイルを開くとロックされた動画の再生が始まります。



常時録画ファイル

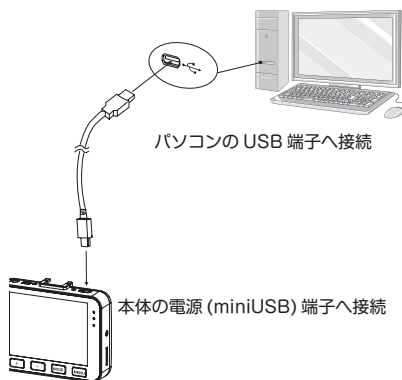
ロックフォルダ

パソコンで見る (USB ケーブル)

1. 本体に SD カードを挿入する
2. 付属の USB 接続ケーブルで本体とパソコンを接続する
自動的に電源が入ります。



※このとき本体画面にディスクと表示されます。
※パソコンにはリムーバブルディスクとして認識されます。



3. SD カードと同様に “CARDV” フォルダがあるリムーバブルディスクを開いてファイルを再生する

エラーファイルの修復

パソコンで再生時、エラーが発生したファイルは一度、本体で再生すると修復されパソコンでも見ることができます。但し、破損の状態により修復されない場合もあります。

〈ご注意〉

強い衝撃等でドライブレコーダーの電源が切れた場合は、それ以降の映像は記録も修復もされません。

見る

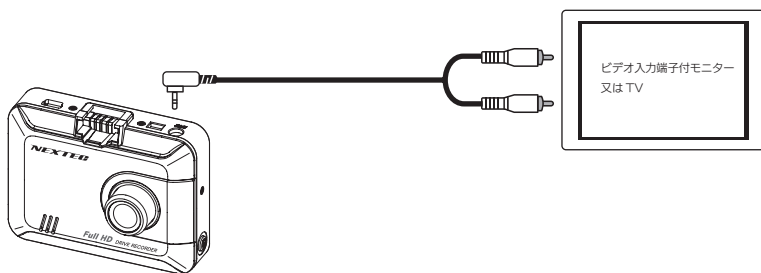
外部モニターで見る

本機の AV 出力端子に市販の AV ケーブルを接続することで外部モニターでリアルタイム映像や再生映像を見ることができます。



3.5mm ステレオ (3 極) ミニプラグ ← RCA ピンプラグ x2 (黄色・白 (または黒)、もしくは赤・白などのケーブルを接続することで、映像を外部に出力することが可能です。外部モニターに出力中は本機のモニターは動作しません。ケーブルによって極性が異なることがありますので、出力されない場合は逆に接続してみてください。

※再生操作は“本体で見る”と同様に行ってください。



⚠注意

■映像のみのケーブル (1 極) タイプ
や 4 極タイプ (赤・白・黄) のケー
ブルでは動作しません。

各種設定

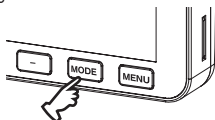
各種設定を行う場合は、“記録 / 確定” ボタンを押して録画を停止してください。

1. ビデオメニュー

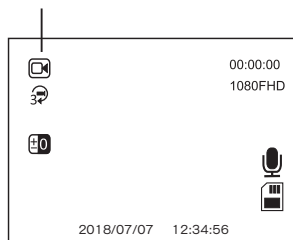
設定手順

1. 動画モードになっていることを確認する

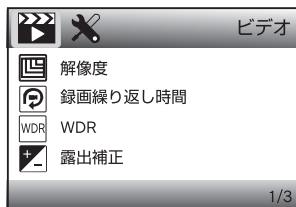
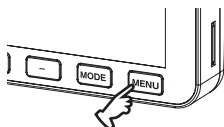
動画モードになっていない場合は、**MODE** ボタンを押して動画モードにしてください。



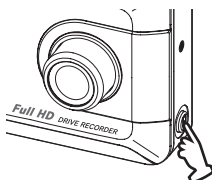
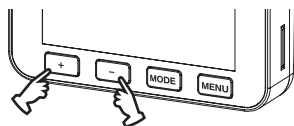
動画モード表示



2. **MENU** ボタンを押し、ビデオメニューを表示する



3. **+** **-** ボタンを押し、設定したい項目を選択して **記録 / 確定** ボタンを押す



4. **+** **-** ボタンを押し、お好みの設定を選択して **記録 / 確定** ボタンを押して確定させる

※確定後は、ビデオメニューに戻ります。
終了する場合は **MENU** ボタンを押します。

各種設定

ビデオメニューの設定項目

もっときれいな画像、もっと長時間の録画

解像度

録画する画像の解像度を設定します。解像度をあげると録画時間が短くなり、さげると長くなります。

1080P (1920 x 1080)	高画質 (初期設定)
720P (1280 x 720)	
WVGA (848 x 480)	
VGA (640 x 480)	長時間

録画繰り返し時間を設定する

録画繰り返し時間

一つの録画ファイルの時間を設定します。SD カードの容量がいっぱいになると、古いファイルから消されて新しいファイルが保存されます。

3 分	(初期設定)
5 分	
10 分	

明るさのレンジを拡大

WDR(ワイドダイナミックレンジ)

明るさの落差が大きい環境で、白とびや黒つぶれを改善できます。

ON	WDR を使用する (初期設定)
OFF	WDR を使用しない

画像を明るく・暗く

露出補正

マニュアルで露出補正を設定できます。

設定範囲	-2.0 ~ +2.0
------	-------------

初期値: + 0.0

動きを検出して録画を開始する

動体検知

動体検知機能を ON に設定すると、画像の中に動くものが検出された場合に記録を開始します。動作の検出が約 8 秒続けてなくなると自動的に録画が停止します。

ON	動体検知機能を使う
OFF	動体検知機能を使わない (初期設定)

※動体検知機能はカメラに写っている画像の中の動き(輝度の変化)を検出します。動くものがあつた時に自動的に電源が ON になるものではありません。また、遠くのものなど画面に占める割合が少ない場合や動きが連続しない場合などには反応できない場合があります。ドライブレコーダーとして使用する場合は動体検知機能は必ず OFF にて使用してください。

映像と同時に周囲の音を録音

サウンドレコーディング

サウンドレコーディング機能で、映像とともに音声や車の中の音を同時に記録するかどうか選択できます。

ON	音声を記録する (初期設定)
OFF	音声を記録しない

※録画中に“MODE”ボタンを押すことで、ON/OFF の切り替えが可能。

日付、時刻を記録する

日時記録

映像内に日付や時刻を同時に記録することができます。

ON	日時を記録する (初期設定)
OFF	日時を記録しない

Gセンサーによる自動ロックファイル機能

G センサー感度

G センサーによるロックファイル機能は、事故や衝突など一定以上の衝撃が加わると録画中のファイルが保護される機能です。G センサーの感度は3段階調整できます。

※ SD カードの容量の約 30%を超えると古い保護ファイルから上書き保存されます。

※ 衝撃の度合いや方向によっては G センサー設定値より一定以下の場合、ロックがきかない場合があります。

高感度	
中感度	(初期設定)
低感度	
OFF	G センサーを使用しない

撮り忘れを防止する

録画オートレジューム

ON に設定すると、約 30 秒間無操作が続くと自動的に録画が開始されます。

ON	自動的に録画に戻る (初期設定)
OFF	自動的に録画に戻らない

※ 再生一時停止状態では録画オートレジュームは機能しません。

※ 録画オートレジュームを OFF に設定すると電源 ON 時も自動的に録画を開始しません。録画開始する場合は“記録 / 確定” ボタンを押してください。

セキュリティカメラとして使う

セキュリティモード

セキュリティモードを ON にすると、電源が入った時に開始音が鳴らず、LED インジケータも消えたままで、表示 (LCD) には何も映りませんが、実際には録画動作を開始しています。密かに録画したい場合に使用できます。

セキュリティモードが ON の時にボタンを押すと表示が出ますので、設定の変更などが可能になります。再度、セキュリティモードにするには一度、録画を停止し、再度録画をスタートさせてください。

ON	セキュリティモードを使う
OFF	セキュリティモードを使わない (初期設定)

※ 画面表示を消すだけの場合は、スクリーンセーバー機能をご使用願います。インジケータが点灯 / 点滅しますので、本機の動作状態が確認可能です。
(P.33 参照)

設定速度を超えると警告する

速度超過警告 (オプション)

別売の GPS ユニットを接続して、“速度超過警告” の設定をします。

設定値	OFF、60km/h、80km/h 100km/h、120km/h
-----	--------------------------------------

初期値: OFF

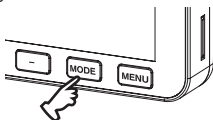
※ 詳細は P.35 を参照してください。

各種設定

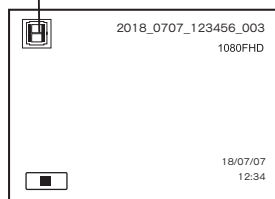
2. 再生モードメニュー

設定手順

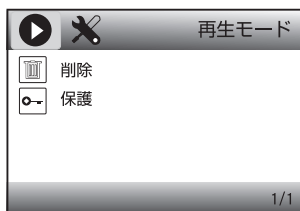
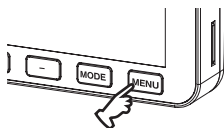
1. 再生モードになっていることを確認する
再生モードになっていない場合は、**MODE** ボタンを押して再生モードにしてください。



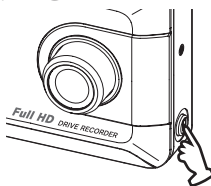
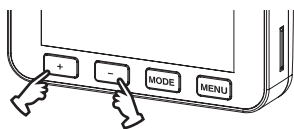
再生モード表示



2. **MENU** ボタンを押し、再生モードメニューを表示する



3. **+** **-** ボタンを押し、設定したい項目を選択して **記録 / 確定** ボタンを押す



4. **+** **-** ボタンを押し、お好みの設定を選択して **記録 / 確定** ボタンを押して確定させる

※確定後は、再生モードメニューに戻ります。
終了する場合は **MENU** ボタンを押します。

再生モードメニューの設定項目

記録済みファイルを削除する

削除

記録された映像・画像ファイルは古いものから自動的に消され（上書き）ますが、手動で特定のファイルを消去することができます。

このファイル	現在のファイルが削除されます
全てのファイル	全てのファイルが削除されます

ご注意：保護されているファイルは削除できません。保護の設定を解除してから削除してください。

記録済みファイルの保護を解除する

保護（保護の解除）

G センサーによるファイルの自動保護や“MENU” ボタンによるファイルの保護ができます。保護されたファイルには鍵マークが表示されます。

保護設定されたファイルは解除することができます。（鍵マークが RO になります）

このファイルの保護解除	現在保護されているファイルの保護を解除します
すべてのファイルの保護解除	カードに記録された全てのファイルの保護を解除します

※ファイルが保護されていてもSDカードをフォーマットすると消去されます。ご注意ください。

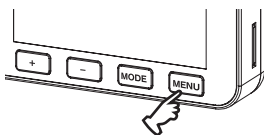
各種設定

3. 設定メニュー

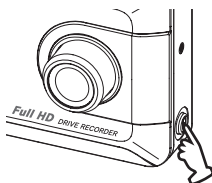
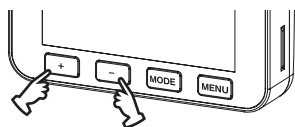
設定手順

1. 動画モードまたは再生モードになっていることを確認する

2. **MENU** ボタンを2回押して設定メニューを表示させる



3. **+** **-** ボタンを押し、設定したい項目を選択して **記録 / 確定** ボタンを押す



4. **+** **-** ボタンを押し、お好みの設定を選択して **記録 / 確定** ボタンを押して確定させる

※確定後は、設定メニューに戻ります。
終了する場合は **MENU** ボタンを押します。

設定メニューの設定項目 (MENU ボタン 2 回押し)

日付と時刻を設定する

日付と時刻

映像に記録する日時の設定をします。
(P.12 参照)

操作音を ON/OFF する

操作音

ボタンを操作した時に鳴る操作音の
ON/OFF を設定します。

OFF	操作音を鳴らさない
ON	操作音を鳴らす (初期設定)

開始音を ON/OFF する

開始音

電源が入った時の開始音を ON/OFF
できます。

ON	開始音を鳴らす (初期設定)
OFF	開始音を鳴らさない

言語を選択

Language

メニューや警告などの表示言語を選択で
きます。

選択可能な言語は日本語 (初期設定) と
English (英語) です。

映像モードを切り替える

TV モード

映像を AV 出力端子から出力する場合の
方式 (NTSC/PAL) を選択できます。

日本国内では NTSC 方式を選択してく
ださい。

NTSC	(初期設定)
PAL	

蛍光灯のチラツキを抑える

電源周波数

蛍光灯下でのチラツキを抑えるための設
定です。東日本では 50Hz、西日本で
は 60Hz を選択します。

50Hz	東日本地域 (初期設定)
60Hz	西日本地域

スクリーンセーバー

スクリーンセーバー

録画の時間が一定時間経過すると LCD
のバックライトが消えます。ここではス
クリーンセーバーが動作するまでの時間
を設定します。

OFF	バックライトを消さ ない (初期設定)
3 分	3 分後
5 分	5 分後
10 分	10 分後

※スクリーンセーバー動作中に何れかの
ボタンを押すとバックライトが点灯し
ます。再び、設定時間になるとバック
ライトが消えます。

各種設定

SD カードを初期化する

フォーマット

SD カードの初期化を行います。SD カードを初期化すると、記録したデータ（ロックファイルを含みます）は全て消去されます。必要なデータは初期化する前にあらかじめパソコンなどに保存しておいてください。

キャンセル

実行

※ P.11 参照

設定を工場出荷状態に戻す

デフォルト設定

本機の設定を工場出荷状態に戻します。出荷状態に戻すときにはメニュー選択後「実行」を選択して下さい。

キャンセル

実行

ソフトウェアのバージョンを確認

ファームウェアバージョン

本機ソフトウェアのバージョン情報を確認できます。

上手な使い方

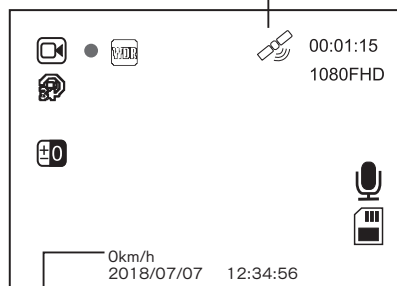
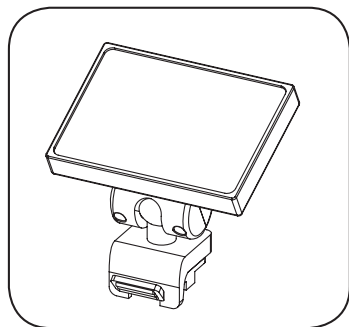
オプションの GPS ユニットを使う

別売の GPS ユニット (HX-GP200) を接続することにより、日時合わせを自動的に行うことができ、速度が表示されます。また、“速度超過警報” “専用ビューアー画面で詳細な情報を見る” の機能が使用できます。

1. 速度超過警報

- (1) ビデオメニューで “速度超過警報” の設定をします。(P.29 参照)
- (2) GPS 測位していることを確認します。(GPS アイコンが点灯)
- (3) 速度が設定値を超えると “ピー” と連続音で警報をします。

別売：GPS ユニット ※取付ステーと一体になった GPS ユニット
HX-GP200



速度表示

- ※ GPS を測位しているとき機能します。GPS 測位していない場合は機能しません。(GPS アイコンが点滅の時)
- ※周辺部に金属やゴムなどの障害物がこないようにしてください。
- ※ビルの谷間、高速道路の高架下、森林等は GPS が受信しにくい場合があります。
- ※ GPS ユニートを抜き差しする場合は必ず電源を切ってください。

上手な使い方

2. 専用ビューアー画面で詳細な情報を見る

弊社ホームページより専用ビューアーソフトをインストールすることで、記録した映像を Google Map と連動させて表示することができます。その他、走行スピード表示、G センサーグラフを表示できます。

※詳細はホームページを参照してください。

※ビューアー画面のデザイン等は変更する場合があります。



Google Map 上に自車位置が表示
※ GPS ユニットが接続されていない場合は機能しません。

ファイル名、録画タイプ
ファイルサイズを表示

スピード表示
※ GPS ユニットが接続されていない場合は機能しません。

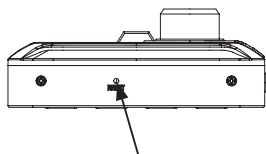
G センサーデータを X 軸、Y 軸、Z 軸
でグラフ表示します。

初期化（リセット）について

本機が正常に動作しない場合やフリーズした場合には初期化を行います。本体底面のリセットホールのリセットスイッチをクリップの先などで押してください。

リセットをすると、正しく電源が再起動されます。

初期化を行っても問題が解決されない場合は、SD カードを抜いて再度リセットをして確認します。SD カードを抜いて正常に動作する場合はパソコンなどで SD カードをフォーマットしてください。



本体ソフトウェアのアップデート

本体のソフトウェアがバージョンアップされた場合、弊社ホームページに掲載します。ソフトをダウンロードすることで最新のバージョンにすることができます。

※詳細はホームページを参照ください。

記録時間の目安

画面サイズ SD カード容量	Full HD 1920 × 1080	HD 1280 × 720	WVGA 848 × 480
8GB	1 時間 20 分	2 時間	3 時間 40 分
16GB	2 時間 40 分	4 時間	7 時間 20 分
32GB	5 時間 20 分	8 時間	14 時間 40 分

※記録時間は目安であり、ご使用の環境、映像の内容等によって大きく変わります。

※ SD カードの容量がいっぱいになると、古いファイルを削除して録画を繰り返していきます。

故障かな？と思ったら

電源が入らない

- カー電源コードが電源端子にしっかり接続されていない。
⇒カー電源コードを電源端子にしっかりと接続してください。
- カー電源コードが車のシガーライターソケットにしっかり接続されていない。
⇒カー電源コードを車のシガーライターソケットにしっかり接続してください。
- カー電源コード先端に入っているヒューズが切れていませんか？
⇒新しいヒューズと交換してください。
- セキュリティモードが ON になっていませんか？
⇒セキュリティモードを OFF にする。(P.29)

映像が記録できない

- SD カードが挿入されていない。
⇒カードを本体に挿入してください。
- SD カードに異常があると映像記録ができなくなります。
⇒その場合は SD カードをフォーマットしてから本体に挿入してください。
※ SD カードは 1 から 2 週間を目安にフォーマットをしてください。

映像が細切れで記録されている

- 動体検知が ON になっていませんか？
⇒動体検知を OFF にしてください。
→ P.28 動体検知

動画再生で映像が飛んだり、カクカクする

- SD カードのスピードクラスが足りていない。
⇒ P.28 解像度の設定を下げるか SD カードを交換してください。

冬期電源を入れた直後画面が暗い

- 液晶画面の性質上、画面が温まるまでは暗い状態が続きます。

故障かな？と思ったら

画面にドット欠損
(輝点・滅点) がある

●液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られていますが、画面の一部にごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合があります。

日時表示が違う

●内蔵の充電式バッテリーが放電してしまっている。
⇒本体に電源が入った状態でしばらく充電してから日時を再設定してください。(P.10) 充電しても初期値に戻ってしまう場合は内蔵の充電式バッテリーの寿命ですので交換が必要になります。

操作を受け付けない

●SDカードが壊れている可能性があります。
⇒SDカードを抜いて動作をする場合には、SDカードが壊れている可能性があります。

●内部コンピュータの異常
⇒リセットホールのリセットスイッチをクリップの先などで押してください。(P.37)

それでも
動かないときは

〒194-0037
東京都町田市木曽西 2-3-8
株式会社 エフ・アール・シー サービス課
TEL : 042-793-7746
土日祝日及び弊社休業日を除く
【10:00 ~ 12:00 13:00 ~ 17:00】

主な仕様

外形寸法	: 約 77 (幅) × 59 (高さ) × 20 (奥行) mm 突起部除く
本体質量	: 約 73 g (microSDHC カード含む)
記録媒体	: microSDHC カード (8GB 付属) 4 ~ 32GB 対応 (Class6 以上)
撮像素子	: 200 万画素 CMOS
レンズ画角	: 水平 約 115 度 垂直 68 度 (145 度対角)
最大記録画角	: 水平 約 113 度 垂直 60 度
記録解像度	: 1920 × 1080(Full HD) 1280 × 720(HD) 848 × 480(WVGA) 640 × 480(VGA)
GPS	: オプション (HX-GP200)
速度超過警報	: 60km/h、80km/h、100km/h、120km/h(オプション: GPS ユニット接続)
G センサー	: 有り (オフ、低、中、高) 3 段階調整
記録方式	: 常時録画、イベント記録 (G センサー、手動)
録画ファイル構成	: 3 分、5 分、10 分
画面サイズ	: 2.7 インチ液晶モニター
音声	: ON/OFF 可能
フレームレート	: 30fps
映像ファイル形式	: 動画 MOV(H.264)
記録映像再生方式	: Windows Media Player 等の H.264 再生ソフト
電源電圧	: DC5V (カー電源コードで変換)
バックアップ電源	: スーパーキャパシタ方式 / ボタン充電電池 (時計用)
消費電流	: 約 400mA (本体 DC5V), 約 190mA (カー電源コード, DC12V 入力時)
動作温度範囲	: 0 ~ +60℃
商品保証期間	: 3 年間 (microSDHC カード等消耗品除く)
言語	: 日本語 / 英語
付属品	: 取付けステー × 1、カー電源コード × 1、USB 接続ケーブル × 1 microSDHC カード (8GB) × 1 取扱説明書 × 1

※商品の仕様は改良のため予告なく変更する場合があります。

弊社オプション品をご使用する上でのご注意:

本機は、本体側の電源電圧が 12/24V ではなく 5V です。DC-3B、AC-2 等の電源ケーブルは使用できません。

保証規定

本製品は、弊社において厳重な品質管理のもとに検査され合格したものです。万一ご購入後 3 年以内に製造上の不備に起因する故障が生じた場合には、弊社が責任をもって無償修理いたします。

なお、次に記載した場合の故障については、保証期間内であっても有償修理となります。

- ①使用上の誤り、不当な改造や修理などによる故障および損傷。
 - ②ご購入後の輸送、移動、落下などによる故障および損傷。
 - ③火災、地震、水害、異常電圧、指定外の電源、電圧、周波数使用およびその他の天変地異などによる故障および損傷。
 - ④本保証書のご提示がない場合。
 - ⑤本保証書の所定事項が未記入、あるいは字句が書き換えられた場合。
- ※本保証書は日本国内においてのみ有効です。

- 使用上修理を依頼されるときはまず、配線の状態および操作方法に間違いがないかどうかよく調べていただき、それでも異常がある時は修理依頼してください。
- その際は問題が発生したときの症状、表示されたメッセージ、症状の再現方法についてできるだけ詳しくお書きください。
- 必要なファイルは、必ずお客様にてバックアップをお取りください。お預かりしたデータの保証はいかなる場合でもできません。
- 保証は不具合が発生した製品を販売店にお持ちいただくか、弊社宛てに送付していただき、修理もしくは代品との交換によるセンドバック方式となります。
- 出張修理は行っておりません。
- 保証の範囲は商品のための保証となり、取り付けや取り付けにかかる費用の保証や商品を使用する事により発生した商品以外への損害についての保証は一切いたしませんので、あらかじめご了承ください。
- 修理期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。

※あらかじめご承知いただきたいこと

- ・修理の時、一部代替品を使わせていただくことや修理品に変わって同等品と交換させていただくことがあります。
- ・出張による修理は一切致しませんので、あらかじめご了承ください。
- ・本取扱説明書の内容は、機能改善のため予告なく変更する場合があります。

※ SD カードは消耗品につき初期故障（使用開始後 10 日間）のみ保証します。

【サポート問い合わせ先】

株式会社 エフ・アール・シー サービス課

TEL : 042-793-7746 土日・祝日及び弊社休業日を除く【10:00 ~ 12:00 13:00 ~ 17:00】



品質保証書

本製品は、弊社において厳重な品質管理のもとに検査され、それに合格したものです。
万一、ご購入後 3 年以内に製造上の不備に起因する故障が生じた場合には、弊社が責任を
もって無償修理いたします。
修理の際には、本製品をご購入いただいた販売店に、必ず本保証書をご持参の上ご依頼く
ださい。本保証書のご提示のない場合には全額有償となりますので、本保証書は大切に保
存してください。

■保証期間中は：

保証書を添えてお買い求めの販売店までご持参いただくか、弊社宛てに症状をお書き
添えの上送付願います。保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

■保証期間が過ぎていたときは：

お買い求めの販売店、または弊社サービス課にご相談ください。
修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

商 品 名	ドライブレコーダー			NX-DR203S		
保証期間	3 年間 (消耗品除く)	購入年月日		年	月	日
お 客 様	ご住所					
	TEL.					
販 売 店	お名前					
	住所					
	店名					
	印					

本保証書は再発行しませんので大切に保管してください。

F.R.C. CO., LTD.

株式会社エフ・アール・シー

〒194-0037 東京都町田市木曽西 2-3-8

URL <http://www.frc-net.co.jp>



4-256-001

P1435